

環境経営レポート

令和4年度版

(対象期間：令和4年10月～令和5年9月)

C L E A N P O W E R

きれいな街づくりのお手伝い

令和5年10月31日 作成



クリーン総業株式会社



環境省
エコアクション21
認証番号 0001774

目次

I	組織の概要	P1～P6
	1.事業者名及び代表者氏名	P1
	2.所在地	P1
	3.資本金	P1
	4.法人設立年月日	P1
	5.売上高	P1
	6.事業活動の概要	P1
	7.事業規模等	P2
	・組織図	P2
	・従業員数	P2
	・役割・責任・権限	P2
	8.許可の概要	P3
	・産業廃棄物収集運搬業許可	P3
	・産業廃棄物処分業許可	P3
	・特定建設業許可	P3
	9.施設等の状況	P4
	・作業車両	P4
	・処理施設	P5
	10.処理の工程	P5
	・処理フロー図	P5
	11.廃棄物取扱いの実績	P6
	・汚泥取扱実績	P6
	・汚泥以外の産業廃棄物の取扱実績	P6
II	EA21対象範囲	P6
III	環境経営方針	P7
IV	環境経営目標	P8
V	環境経営目標の実績及び次年度の環境経営目標	P9
VI	環境経営計画と取組の評価及び次年度の環境経営計画	P10～P12
	・環境経営計画と取組評価	
VII	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P13
VIII	代表者による全体の評価及び見直し・指示	P14
IX	地域・社会貢献	P15

組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

事業者名 : クリーン総業株式会社
代表者名 : 代表取締役 大石 保男
ホームページ : <https://www.clean-s.jp/>
環境管理責任者 : 小川 正人
連絡先 : TEL 0258-22-0008 FAX 0258-23-1884

2. 所在地

越路営業所 : 新潟県長岡市釜ヶ島字藤場2520番地
汚泥中間処理場 : 新潟県長岡市釜ヶ島字藤場2514番地
ストックヤード : 新潟県長岡市西野字泉島1232
魚沼営業所 : 新潟県魚沼市須原1000-1
新潟営業所 : 新潟県新潟市中央区出来島1丁目5番1号
本社(登記上) : 新潟県長岡市南町2丁目4番4号

3. 資本金

2000万円

4. 法人設立年月日

昭和58年3月1日

5. 売上高

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高 (百万円)	518	760	646

6. 事業活動の概要

- ・ 産業廃棄物処理業(収集運搬・中間処理)
- ・ 下水道管路施設維持管理業
- ・ リサイクル改良土販売業
- ・ 土木工事業

7.事業の規模等

組織図

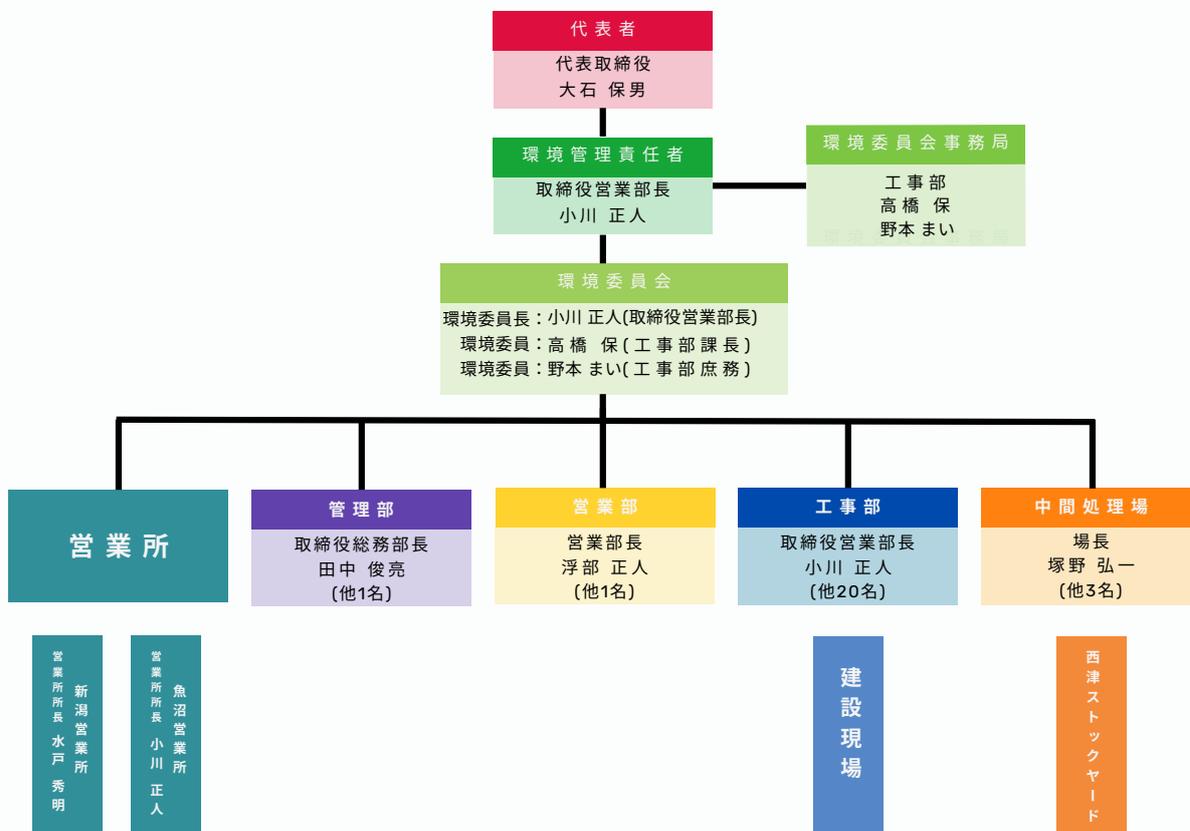


図-1 クリーン総業株式会社 組織図

従業員数 : 29人(代表取締役含む)

役割・責任・権限

代表者

- ・環境経営に関する統括責任
- ・経営における課題とチャンス の明確化
- ・環境経営システムの承認及び見直し
- ・実施体制の構築と経営資源(環境経営システムの実施に要する人材、設備、技術者)の用意
- ・環境経営管理責任者の任命
- ・環境経営方針の策定・見直し、及び全従業員への周知
- ・環境経営目標・環境経営計画の承認

環境経営管理責任者

- ・環境経営システムの構築
- ・環境関連法規一覧の承認
- ・環境経営目標・環境経営計画の確認
- ・環境経営取組結果を代表者へ報告
- ・環境経営レポートの確認
- ・従業員に対する教育・訓練の実施

環境委員会事務局

- ・環境経営責任者の補佐
- ・環境への負荷と環境への取組状況の自己チェック
- ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成
- ・環境関連法規一覧表の作成・遵守評価の実施
- ・環境経営レポートの作成

全従業員

- ・環境経営方針への理解、環境への取組の重要性の自覚
- ・決まりを守り、積極的な環境経営活動への参加

9.施設等の状況

作業車両

- 産業廃棄物収集運搬

表-1 収集運搬使用車両

11t特殊強力吸引車

最大積載量：7400～9880kg
台数：5台

10tダンプ

最大積載量：9000～9400kg
台数：4台

5t強力吸引車

最大積載量：3620～4320kg
台数：2台

2tダンプ

最大積載量：2000kg
台数：1台

4t強力吸引車

最大積載量：2590kg
台数：1台

2tトラック

最大積載量：2000kg
台数：1台

- 排水施設の清掃・補修・維持管理

表-2 排水設備清掃・補修等使用車両

4t高圧洗浄車

台数：2台

カメラ搭載車

台数：2台

4t給水車

台数：1台

2t工作車

台数：1台

2t補修プラント車

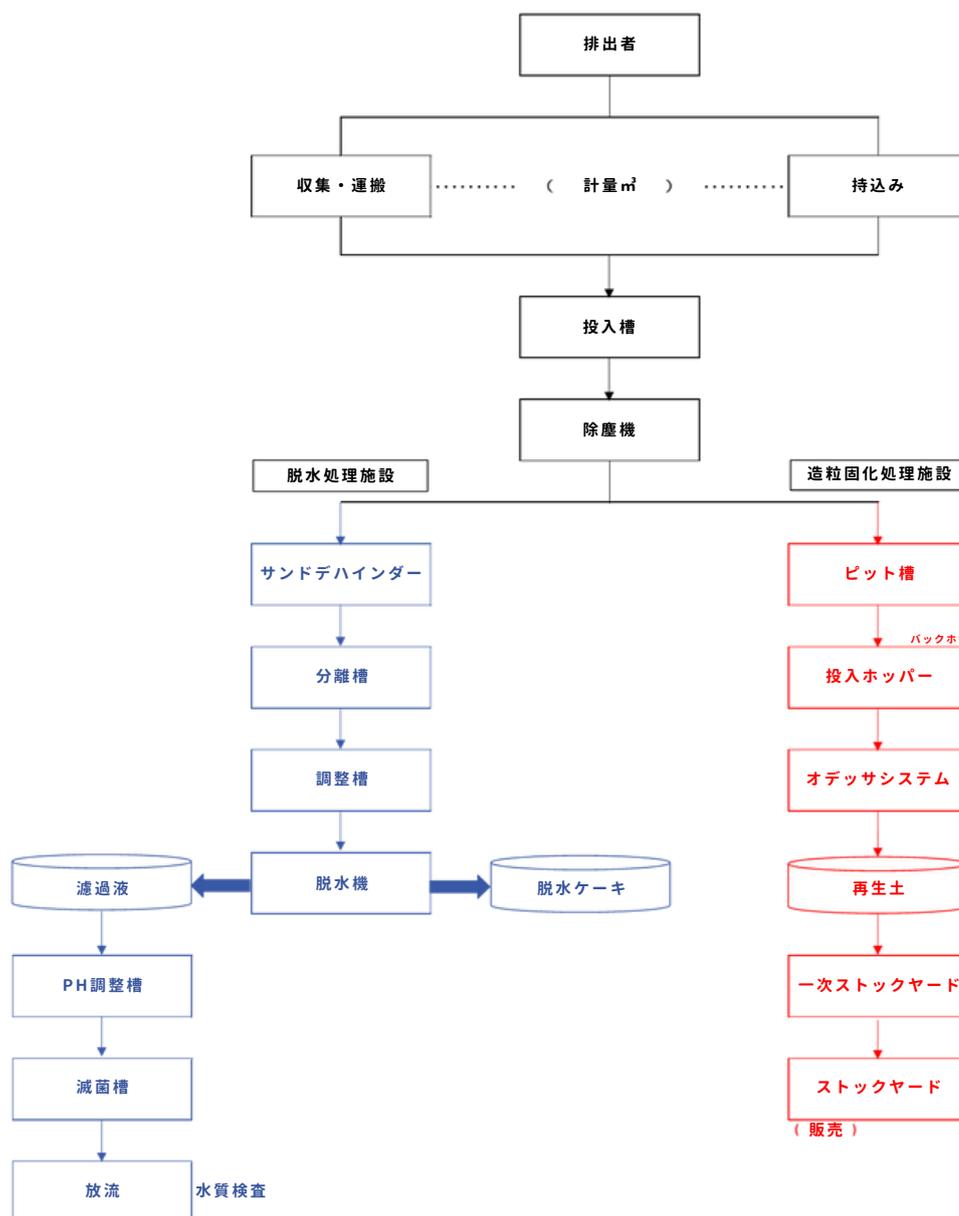
台数：1台

処理施設

脱水処理施設	
設置場所:	新潟県長岡市釜ヶ島藤場2514番地
処理する産業廃棄物:	汚泥
設置年月日:	平成2年9月1日
処理能力:	16m ³ /日
処理方法:	脱水

造粒固化処理施設	
設置場所:	新潟県長岡市釜ヶ島藤場2514番地
施設の数:	2基
処理する産業廃棄物:	汚泥
設置年月日:	平成13年2月19日 / 平成14年2月20日
処理能力:	240m ³ /日(2基)
処理方法:	造粒固化

10.処理の工程



11. 廃棄物取扱の実績

汚泥取扱実績

表-3 汚泥(建設汚泥)の取扱実績 (単位：t)

処理の内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収集運搬量	15,372	26,596	32,640
受託処理量	24,247	35,388	38,709
脱水処理	実績なし	実績なし	実績無し
造粒固化処理	24,247	35,388	38,709
再生資源化量	21,593	35,922	36,496

汚泥以外の産業廃棄物の取扱実績

建設汚泥以外の産業廃棄物の収集運搬はありません。



対象範囲(認証・登録範囲)

組織

- ・ 本社、越路営業所、汚泥中間処理場、ストックヤード、魚沼営業所

活動

- ・ 全活動

環境理念

クリーン総業株式会社は、下水道管路施設等の維持管理及び管路堆積物汚泥や建設副産物として発生する建設汚泥等の収集・運搬並びに中間(再生)処理、汚泥のリサイクル製品販売を行っています。これらの事業の展開により、当社の経営理念である「**きれいな街づくりのお手伝い**」を進めながら、土壌及び水環境保全並びに廃棄物対策など地域の環境保全に貢献したいと考えています。

このため、当社は「**かけがえない地球の環境保全**」を環境理念として事業活動を行い、地球環境保全への取り組みの第一歩として足元の地球環境保全及び循環型社会の構築に向けた取り組みを推進いたします。

また、資源を大切に使い尚且つそれらの再利用を繰り返してきた、先人達の「**もったいない**」という精神を受け継ぎ、省資源・省エネルギーを一層推進し、当社から当社従業員の家庭へと取り組みの輪を広げることにより、地域社会における環境活動の促進を図り、豊かな国土を次世代に引き継ぐ努力をします。

環境経営方針

1. 日常業務の実施においては、環境関連の法規則を遵守します。
2. 汚泥の収集運搬・運搬車輛のエコドライブを進め、省エネと排気ガスの抑制に努めます。
3. 事業実施により排出する廃棄物の削減に努めます。
4. 産業廃棄物中間処理に使用する薬品は、使用の効率化を図り、省資源化に努めます。
5. 地下水揚水量を適切に管理し、地下水揚水量を削減することにより排水量の削減に努めます。
6. 事務用品及び機器等にグリーン化を図り、再資源化の利用と省エネに努めます。

当社は、環境経営方針を達成するため、全社員の環境意識の向上を図るとともに環境経営システムを構築し、これを適切に運用し、全員参加のもとに継続的に環境活動の改善を図ってまいります。

制定日：2006年7月27日

改定日：2009年11月17日

クリーン総業株式会社
代表取締役 大石 保男

3カ年環境経営目標

表-4 3カ年環境経営目標(令和4年度～令和6年度)

取組項目	単位	基準年度 令和3年度			年間環境経営目標(汚泥1t当りCO ₂ 排出量より削減)		
		総排出量	単位	汚泥1t当り	令和4年度	令和5年度	令和6年度
■CO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂	498,817.224	kg-CO ₂ /t	14.089	-1%	-2%	-3%
(1)電力由来のCO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂	61,858.213	kg-CO ₂ /t	1.746	13.947	13.806	13.665
(2)軽油由来のCO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂	412,833.540	kg-CO ₂ /t	11.664	1.728	1.711	1.693
(3)ガソリン由来のCO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂	24,125.471	kg-CO ₂ /t	0.679	11.547	11.430	11.314
					0.672	0.665	0.658

取組項目	単位	基準年度 令和3年度		年間環境経営目標		
		処理量	汚泥1t当り	令和4年度	令和5年度	令和6年度
■廃棄物の排出量削減						
(1)受託汚泥の再資源化率の維持		98% (汚泥100%)		再資源化率 98%以上	再資源化率 98%以上	再資源化率 98%以上
〔下水道管路施設維持管理業における汚泥を含む〕	t	処理量	35,388.636	中間処理済建設汚泥 100%活用	中間処理済建設汚泥 100%活用	中間処理済建設汚泥 100%活用
		再資源化量	35,388.636			
(2)自社一般廃棄物の再資源化率の維持		再資源化率 35%以上		再資源化率 35%以上	再資源化率 35%以上	再資源化率 35%以上
	kg	排出量	505.20	-1%	-2%	-3%
		再資源化量	190.50	500.15	495.10	490.04

取組項目	単位	基準年度 令和3年度		年間環境経営目標		
		購入量		令和4年度	令和5年度	令和6年度
■コピー用紙使用量(購入量)の削減				-1%	-2%	-3%
(1)コピー用紙購入量削減	kg	319.0		315.8	312.6	309.4

取組項目	単位	基準年度 令和3年度			年間環境経営目標(汚泥1t当り地下水用量より削減)		
		使用量	単位	汚泥1t当り	令和4年度	令和5年度	令和6年度
■総排水量の削減					-1%	-2%	-3%
(1)地下水使用量の削減	m ³	9,107.2	m ³ /t	0.257	0.254	0.252	0.249

取組項目	単位	基準年度 令和3年度			年間環境経営目標(汚泥1t当り地下水用量より削減)		
		使用量	単位	汚泥1t当り	令和4年度	令和5年度	令和6年度
■汚泥再資源化用薬剤使用量の削減					-1%	-2%	-3%
(1)固化材使用量の削減	t	3,308.6	t/t	0.093	0.092	0.091	0.090

※PRTR制度対象の化学物質を使用していない為、目標を定めていない。

※二酸化炭素排出係数は令和3年度実績の調整後排出係数(東北電力(株):0.457(kg-CO₂/kwh)・(株)リコージャパン:0.441(kg-CO₂/kwh)を使用した。

※基準年度数量の原単位は、令和3年度の汚泥処理量35,388.636tである。

環境経営目標の実績

表－5 令和4年度の目標値と実績・評価

取組項目		基準年度 令和3年度	取組年度 令和4年度		目標値比	評価
■CO ₂ 排出量削減		基準数値	目標値(-1%)	実績値	(%)	達成:○ 未達成:×
総排出量 CO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂ /t	14.089	13.947	12.007	▲13.91	○
(1)電力由来の CO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂ /t	1.746	1.728	1.674	▲3.13	○
(2)軽油由来の CO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂ /t	11.664	11.547	9.747	▲15.59	○
(3)ガソリン由来の CO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂ /t	0.679	0.672	0.586	▲12.80	○
二酸化炭素総排出量：476,946.645(kg-CO ₂)						
■廃棄物の排出量削減						
(1)受託汚泥の 再資源化率の維持	t	98% (汚泥100%)	再資源化率 98%以上	再資源化率 100%	2.00	○
〔下水道管路施設維持管理業に おける汚泥を含む〕		処理量：35,388.636 再資源化量：35,388.636	中間処理済建設汚泥 100%活用	中間処理済建設汚泥 100%活用 処分量：38,709.701 再資源化量：38,709.701	0.00	○
(2)自社一般廃棄物の 再資源化率の維持	kg	再資源化率 35%以上	再資源化率 35%以上	再資源化率 41.86% 排出量：474.70 再資源化量：198.70	6.86	○
		排出量：505.20 再資源化量：190.50	500.15	474.70	▲25.45	○
■コピー用紙使用量(購入量)の削減						
(1)コピー用紙購入量削減	kg	319.00	315.81	274.50	▲41.31	○
■総排水量の削減						
(1)地下水使用量の削減	m ³ /t	0.257	0.254	0.506	0.252	×
■汚泥再資源化用薬剤使用量の削減						
(1)固化材使用量の削減	t/t	0.093	0.092	0.087	▲0.005	○

※PRTR制度対象の化学物質を使用していない為、目標を定めていない。

※取組年度の二酸化炭素排出量は、調整後排出係数として、それぞれ東北電力(株)：0.457(kg-CO₂/kwh)・(株)リコージャパン：0.441(kg-CO₂/kwh)を用いて計算した排出量を合計して得た数値である。

※基準年度数量の原単位は、令和3年度の汚泥処理量35,388.636tである。

次年度の環境経営目標

次年度は、令和5年度の環境経営計画に則って活動を行う。

環境経営計画と取組評価

環境経営計画の実施状況は、表-6の「取組評価・内容」に示した通りです。
また、環境経営目標の達成状況と組合せた「総合評価」を実施しました。

表-6 取組評価・内容

1.CO2排出量削減

■ 購入電力量削減		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・退社時の冷暖房の消し忘れ防止 ・昼休みの消灯 ・処理場電源使用の注意 ・不必要箇所の消灯 ・空調機器の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチの側に注意喚起の張り紙をし、消し忘れ防止に努めた。 ・不在時の照明の消灯、PCのスリープモードを心掛けた。 ・昼休みの汚泥造粒機の電源を落とすことを心掛けた。 ・使用していない部屋の照明の消灯を徹底した。 ・事務所・処理場の空調機器点検を隔月で実施完了した。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事務所、処理場共に節電を心掛けて業務に当たり、目標を達成することが出来ました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。
■ 化石燃料削減		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・駐停車時のアイドリングストップ ・車両整備による燃費向上 ・始業前点検を行う ・法定速度を厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐停車時のアイドリングストップを心掛けた。 ・定期的に車両整備を行っていた。 ・始業前点検表を作成し、毎日点検を行った。 ・タコメータで法定速度を守っているか確認している。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・作業前の点検を忘れずに行い、燃料削減を意識した運転を心掛けました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。

2. 廃棄物の排出量削減

■ 受託産業廃棄物の有効活用率98%以上		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・処理した汚泥の活用を図る ・再生可能施設への委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木資材として販売を行った。 ・分別を行い、各再生可能施設に委託を行った。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・自社排出産業廃棄物の汚泥は、100%再生土として処理し、活用いたしました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。
■ 一般次廃棄物の再資源化率の維持		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ミスプリントを無くす ・ごみ分別の徹底 ・両面印刷の徹底 ・使用済用紙の裏紙利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷プレビューの確認を行い、印刷をかけるように心掛けた。 ・ごみ分別を徹底的に行い、再資源化に努めた(紙類のシュレッダー) ・内容を確認し、可能な限り両面印刷を心掛けた。 ・使用済コピー用紙は分別・保管し裏面利用しやすいよう心掛けた。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを捨てる際の分別を心掛けました。 書類印刷の際は、内容、ページ設定にミス等が無い確認を徹底しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。

3. コピー用紙等紙使用(購入)量削減

■ コピー用紙等紙使用(購入)量削減		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の在庫管理の徹底 ・紙類分別の徹底 ・使用済用紙の裏面利用 ・両面印刷の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙在庫チェック表を作成して管理した。 ・使用済コピー用紙は分別・保管場所を明確にする事により、裏面利用が積極的に行われた。 ・印刷前に内容の確認を行い、可能な書類は両面印刷を心掛けた。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・書類の印刷前の内容確認、裏紙、FAX用紙の積極的な使用を心掛け、コピー用紙購入量削減に努めました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。

4.地下水使用量の削減

■ 地下水使用量の削減		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃の際は洗車水の水圧を上げて作業する ・清掃作業車残水の翌日使用(冬季以外) ・降雪が無い時は消雪水を停止する ・清掃手順を明確にし、迅速に清掃を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水圧を上げて迅速に清掃を行った。 ・冬季は凍結の可能性があるため、残水を翌日に使用することが出来ないが、冬期以外は翌日も使用を心掛けた。 ・消雪を手動にし、降雪がある時に水を出すよう心掛けた。 ・清掃手順を明確にし、迅速に清掃を行った。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画に則て取組んでおりましたが、2月～水の使用量が多くなり、目標としては達成することが出来ませんでした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。

5.固化材使用量の削減

■ 固化材使用量の削減		
取組内容	実施状況	取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・固化材使用量の削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・造粒機槽に投入する際は、タンク内の上水を除去してから投入するよう徹底した。
取組の評価	総合評価	次年度の環境経営計画
<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画に則て作業を行いました。期間中目標値を達成出来ない月もありましたが、年間を通しての使用量は削減することが出来ました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動を実施継続する。

【実施状況】

- ：取組を順調に行っている
- △：取組を行っている
- ×：取組が上手くいっていない

【総合評価】

- A：取組が順調に行われ、目標を達成できた
- B：取組が順調に行われたが、目標を達成できなかった
- C：取組が徹底せず、目標を達成できなかった

環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・ 法的義務を受ける環境関連法規制は次の通り

適用される法規則	毎月の確認	遵守評価
廃棄物処理法	実施	違反なし
新潟県産業廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	実施	違反なし
浄化槽法	実施	違反なし
毒物及び劇物取締法	実施	違反なし
フロン排出抑制法	実施	違反なし
家電リサイクル法	実施	違反なし
自動車リサイクル法	実施	違反なし
建設リサイクル法	実施	違反なし
水質汚濁防止法	実施	違反なし

環境法規等遵守状況を月1回の環境関連法規等遵守状況チェックリストにより遵守状況をチェックし、確認しています。その結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。また地域住民からのクレームもなく、訴訟もありませんでした。

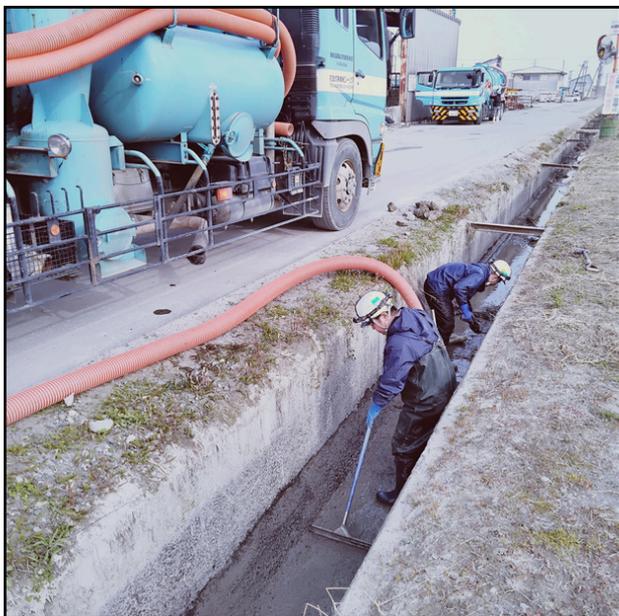
作成：令和5年10月31日

作成者：環境委員会事務局

代表者によるエコアクション2.1取組状況の評価と見直し・指示

項目	変更の必要	評価結果及び指示事項
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	・現行通りとする。
環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	・今年度同様、汚泥量1t当たりのCO ₂ 排出量を目標として3ヶ年目標を立てる事とする。
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	・現行通りとし、継続する事。
実施体制	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	・現行通りとする。
その他環境経営システム	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	・有効に機能している事から、現行通りとする。
<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が環境関連法規等を理解、遵守したうえで環境理念に従い、事業活動を継続実施する。このことが企業経営の理念となり、また礎でもあり根幹を成す方針であることを認識して業務に当たる。 ・環境経営計画と取組みの評価については、一部項目を除き、目標達成しているが更なる目標達成への努力が必要である。引き続き、全職員が環境経営計画について理解し、業務に努めることが肝要である。 ・再生土については長岡市の左岸バイパス工事発注に合わせ、盛土材としての利用を依頼してきたが遅れが生じている。再利用が遅々として促進されない状況下、積極的に各機関への営業活動を行うこととする。次年度の目標値については方針、計画に変更の必要がないと判断するが、社内活動が形骸化することなく、定めた目標値を常に監視する必要がある。 ・エコ活動は環境保全維持と同時に企業のコスト削減、収益に直結していることは自明の理である。繰返し見直しを行い、わかり易く、使い易い内容にすることが必要である。加えて個別項目には数値的観測を常に怠ることのないようお願いしたい。 ・「環境経営方針、環境経営計画、システム」については現行通りとし、継続する。また、前述したとおり形骸化することなく、尚一層のエコ意識の向上と全社員への周知徹底を図り、当社の発展に寄与することとする。今、持続可能な社会を目指すべくSDGs促進が広く言われている。今後もエコ活動の基本精神を念頭に業務に当たる。 		

令和5年3月31日
当社越路事業所中間処理施設隣接地
排水路清掃状況



令和5年3月31日
当社西津ストック場周辺
排水路清掃状況



地域・社会貢献活動の一環として、毎年2回事業所・ストック場周辺の清掃を行っております。又、緑化活動を行っている「緑の百年物語緑化推進委員会」の会員となり、地域の森づくりに協力しております。

